

三田市議会市民との意見交換会 実施報告書

意見交換会名	三田市議会報告会 お聞かせください“みなさんの声”	班名	1班
開催日時	令和5年4月22日(土) 午前10時～午前11時30分		
開催場所	市役所6階 委員会室		
出席議員	(班長) 厚地 (副班長・司会) 幸田 出席議員: 檜田(記録)、大西、井上、水元		
参加人数	9人		
実施概要 (テーマ・報告 内容・進行等)	◆議会報告 ①令和5年度予算審査報告 ②意見・提案に係る議会見解報告 ◆意見交換 ・予算審査報告について ・事前提出意見・提案について ・その他意見について		
主な意見・ 要望・提案 (意見交換の 内容)	【令和5年度予算審査報告】 ・質疑なし 【事前提出意見・提案についての議会見解】 Q 市民病院の再編統合について、新病院の運営体制や費用負担など議論はつくされたのか。 A 議会に「市民病院のあり方特別委員会」を設置して活発な議論がされている。三田市民病院と兵庫県済生会病院との再編統合であり、神戸市は当事者ではなく、北神地域の医療行政に責任を持つ立場である。 三田市の一般会計からの繰入は17億円、建設にかかる市債の返還は令和6年に完済する。建設費の高騰の話はでていたが、まだ先のことであり、具体の話とはなっていない。指定管理料36億円の予算は示されていない。 住民投票については、市は動向を見守るとの見解である。 Q 子どもが障害者であり、生活介護の施設3か所に通っている。市内にこうした施設が少なく、障害者や家族は将来に不安を感じるが、どう解消していくのか。 A 福祉関連予算については、範囲も広く不十分なところがあるかも知れないが、適切な予算が組まれていると思っている。不足があれば補正予算を組むこともできる。いずれにしても、不安の解消につながるよう今後も調査研究を継続していく。 Q 投票率の向上に向けた取組は？ A 学校教育で主権者教育を十分に行うことが大切だと思われる。 三田市議会では「議会改革推進会議」を設置して、市民の皆様と議会に関心を持っていただく取り組みをしている。本日の「意見交換会」もその一つで		

ある。また、政治に対する不信感・無力感があるのかもしれないが、本日来
ていただいている皆さんのような政治を自分事として考える人が増えれば投
票率も上がると思う。

【事前提出意見・提案についての再質問】

Q 市民病院の跡地活用についてだが、外来機能を残し、新病院との間でオンラ
イン診療を受診できるようにするのはどうか。

A ご意見については、議会内で研究したい。

Q 市民病院再編統合については、市の財政面を心配している。議会として会派
を超えて財政の研究をしているか。

A 三田市だけが負うことになるとの不安を市民の皆様が感じることは、わか
らなくもない。ただ、国や県からの補助金等を最大限に活用できるように調査
研究しながら取組んでいる。また、本年度には基本計画が作成されるので、
もう少しイメージがしやすくなるのではないかと。

Q 新たな市民病院への交通アクセスについて、嶋ヶ谷交差点の混雑対策は図ら
れるのか。

A 本年度に専門的な業者が調査を実施するので、結果を受けて議論していく。

【その他の意見】

Q 不登校親子の居場所づくりをしているが場所がない。あっても費用がかかる
ため、助成金があれば助かるが。

A 相談窓口の拡充や、メタバースを活用した事業等に取り組んでいる。ただ、
不登校の子が一步家から外へ踏み出すことの大切さを考えると居場所をつく
ることは大変重要である。市のみならず国・県も含めてできることがないか
研究していく。なお、参考となる資料を後日お知らせさせていただく。

Q 第5次三田市農業基本計画について、半農半X、30アールの農地取得の面積
要件緩和、有機農業の促進等期待している。

A 市も有機農業に目を向けている。議員もそれぞれ調査研究を進めている。

上記のとおり、実施いたしましたので報告します。

令和5年4月27日

議会改革推進会議委員長 様

班長 厚地 弘行